

平成 27 年 12 月 31 日  
仁科加速器研究センター  
センター長 延與 秀人

森田浩介氏は 1984 年の理研着任以来、ずっと継続して超重元素の合成実験に取り組んできました。このたび 113 番元素の命名権が与えられることとなりましたが、この実験にも 10 年の月日が必要でした。まさに長い旅路の末の大成果であったと言えます。ほんとうに喜ばしいことです。命名権はロシアで行われた類似実験との競争でしたが、より早く確固たる証拠を出したのが森田グループであると認めた IUPAC-IUPAP の合同委員会の慧眼に心から敬意を表したいと思います。

この成果は、森田グループのみならず、利用するビームの強度を 1,000 倍に高め、さらには常時実験が行えるような体制を作ることで、10 年間にわたる実験を支え続けた理研の加速器グループの努力の賜物でもあります。森田グループが命名権を得たことで、これまでの国民の皆様のご声援に応えることができました。ありがとうございます。今後は 119 番、120 番元素の合成にチャレンジしていきます。引き続きご理解とご支援を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。